23. 特例高齢者診療報酬収入	25,035,274	25,035,274	—	—
24. 老人被爆診療報酬収入	862	862	—	—
25. 特定疾患等診療報酬収入	38,427,252	38,423,628	3,624	—
26. 小児慢性診療報酬収入	19,267,713	19,267,713	—	—
27. 措置等医療診療報酬収入	7,564,475	7,564,471	4	1
28. 石綿救済診療報酬収入	64,709	64,709	—	—
29. 児童福祉障害児施設医療診療報酬収入	6,512,230	6,512,230	—	—
30. 自治体医療診療報酬収入	73,048,459	73,048,104	355	—
31. 出産育児一時金等収入	35,959,851	35,959,851	—	—
2．前年度繰越金	233,953,104	233,953,104	—	—
1．委託金繰越金	102,329,885	102,329,885	—	—
1．共済組合委託金繰越金	25,553,017	25,553,017	—	—
2．健保組合委託金繰越金	76,776,868	76,776,868	—	—
2．診療報酬繰越金	131,623,219	131,623,219	—	—
3．事務費補填受入金	—	—	—	—
1．事務費からの補填受入金	—	—	—	—
計	10,066,230,169	9,895,146,716	171,083,453	169,425,848
仮受金	—	11,961,240	—	—
1．一般仮受金	—	94,377	—	—
2．源泉徴収税額	—	11,866,862	—	—
収　入　合　計	—	9,907,107,956	—	—

㈱1．委託金及び診療報酬収入は、「４管掌別診療報酬収入状況」と同じである。
2．委託金及び診療報酬収入の請求額には、前年度収入未済額が含まれている。なお、当該額は備考欄に付記した額である。
3．源泉徴収税額は、所得税源泉徴収額のうち未納付額である。

⑵　支払

（単位：千円）

科目	支払確定額	支払額	支払未済額	備考
1．診療報酬支払	9,658,046,457	9,657,930,041	116,415	1,705,706
1．協会けんぽ診療報酬支払	3,907,276,959	3,907,215,909	61,050	54,924
2．船員保険診療報酬支払	20,242,841	20,242,554	287	1,586,357
3．共済組合診療報酬支払	901,843,763	901,838,284	5,478	4,716
4．健保組合診療報酬支払	2,917,795,591	2,917,772,311	23,280	34,774
5．自衛官等診療報酬支払	9,549,598	9,549,569	29	70
6．感染症結核診療報酬支払	3,283,025	3,283,025	—	59
7．生活保護診療報酬支払	1,428,721,846	1,428,701,278	20,567	15,197
8．戦傷病者診療報酬支払	67,323	67,323	—	—
9．自立支援更生医療診療報酬支払	104,505,486	104,505,441	44	△ 321
10．自立支援育成医療診療報酬支払	2,465,551	2,465,551	—	5
11．児童福祉療育給付診療報酬支払	5,934	5,934	—	—
12．原爆医療診療報酬支払	8,506,495	8,506,465	29	37
13．精神保健診療報酬支払	4,280,111	4,280,107	3	3
14．自立支援精神通院医療診療報酬支払	117,136,068	117,135,083	984	319
15．麻薬取締診療報酬支払	—	—	—	—
16．母子保健診療報酬支払	5,718,036	5,718,036	—	—
17．自立支援療養介護医療診療報酬支払	707,315	707,315	—	—
18．中国残留診療報酬支払	5,093,877	5,093,848	28	—
19．老人保健診療報酬支払	886,239	883,681	2,558	7,720
20．感染症診療報酬支払	19,902	19,902	—	—
21．医療観察診療報酬支払	10,323,235	10,323,235	—	—
22．肝炎診療報酬支払	4,084,341	4,084,341	—	—
23．特例高齢者診療報酬支払	25,035,516	25,035,119	396	241
24．老人被爆診療報酬支払	865	862	3	3
25．特定疾患等診療報酬支払	38,175,091	38,174,163	927	1,289
26．小児慢性診療報酬支払	19,167,274	19,167,187	87	8
27．措置等医療診療報酬支払	7,543,578	7,543,575	3	27
28．石綿救済診療報酬支払	64,709	64,709	0	—
29．児童福祉障害児施設医療診療報酬支払	6,523,517	6,523,517	—	—
30．自治体医療診療報酬支払	73,062,506	73,061,851	655	270
31．出産育児一時金等支払	35,959,851	35,959,851	—	—
2．事務費補填受入金払出	—	—	—	—
1．事務費からの補填受入金払出	—	—	—	—
支　払　合　計	9,658,046,457	9,657,930,041	116,415	1,705,706

㈱1．診療報酬支払は、「３管掌別診療報酬支払状況」と同じである。
2．診療報酬支払の支払確定額には、前年度支払未済額が含まれている。なお、当該額は備考欄に付記した額である。

7　平成21事業年度における事業の実施状況

平成21年度においては、医療保険制度の安定的運営・発展を支えていくという使命のもと、引き続き計画的にサービスの拡充と質の向上、業務の効率化・合理化、事業運営の信頼性の向上に努めた。

具体的には、以下に掲げるように、新しい審査支払体制に向けての準備、審査の充実、保険者のオンラインによる受け取りの促進、医療機関及び保険者からの疑義照会に対する説明責任の履行等に取り組んだ。

⑴　電子レセプトに対応した新たな審査支払体制の構築

ア　新しい審査支払体制に向けての準備

㋐　電子レセプトの急速な普及に伴い、電子レセプトに対応した職員の審査支援体制や審査委員会の運営等、新しい審査体制のあるべき姿について検討を進めることを目的として、平成21年５月に「今後の審査委員会のあり方に関する検討会」を設置し、「審査委員会の機能充実に関すること」、「レセプト電子化に対応した審査委員会の運営に関すること」、「審査に関する支部間差異解消に関すること」等に関して９回にわたり議論が進められ、平成22年２月に報告書「国民の信頼に応える審査の確立に向けて」と題する報告書が取りまとめられ、今後、報告書の指摘事項に基づいた検討を進めることとした。